



進路 Q&A / 奨学金関係資料

Q、公立高校・私立高校の入試はいつですか

令和8年度（2026年度）の公立高校・私立高校の入試日程は以下のとおりです。

公立推薦面接	令和8年2月10日（火）	私立A日程一般入試	令和8年2月13日（金）
公立一般入試	令和8年3月4日（水）	一般面接	令和8年2月14日（土）
公立一般面接	令和8年3月5日（木）	私立B日程一般入試	令和8年2月17日（火）
公立合格発表	令和8年3月17日（火）	一般面接	令和8年2月18日（水）

公立高校入試の詳細なスケジュールは10月の道教委の入学選抜説明会で公表されます。

公立高校入試に関する情報は、

北海道教育委員会→教育庁→学校教育局学力向上推進課→高等学校入学者選抜情報

私立高校入試に関する情報は、

北海道私立中学高等学校協会 <https://www.doshigaku.jp/>

のホームページでみることができます。

Q、教育相談、二者懇談、三者懇談はどんな話をするのですか

- 教育相談は生徒と担任で、普段から機会を設けて行います。生徒本人の進学希望に応じて学習・生活面のアドバイスをします。現状の学習ランク、学力点、欠席状況などを把握してもらい、これらのデータも参考に志望校を考えてもらいます。
- 二者懇談は保護者と担任でおこないます。生徒本人の希望と家庭の意向を照らし合わせ、本人・保護者とも納得のいく進学先を考えていきます。進路相談シートと公立相関表・私立合格基準表をもとに現実的・実際的なアドバイスをしていきます。
- 三者懇談は生徒・保護者・担任の三者でおこないます。三者懇談は基本的には「出願先の確認の場」です。教育相談、二者懇談で提供した情報やアドバイスの内容を踏まえ、ご家庭で志望先についてよく話し合ってください。ご家庭で出した結論を三者懇談で「確認」し、出願手続きを進めていきます。教育相談・二者懇談以外にも進路のご相談があれば気軽に申し付けてください。くれぐれも最後の三者懇談の場で「これから考えます」ということのないようにお願いします。



Q、出願する高校（進路希望）はいつまでに決めればよいのですか

11月28日（木）～12月6日（金）の三者懇談が出願先高校の決定の場です。

三者懇談では「願書請求書」という書類を提出いただきます。懇談の場で生徒と保護者が出願先を決めて意見が一致したところで、すぐさま出願に必要な書類を取寄せていくことになります。

12月の初めから公立高校は中学からの願書請求を受け付けますので懇談後すぐに願書必要数を集約し冬休みに入る前に入学願書を準備します。私立高校についても出願のための準備を始めます。

このように、懇談直後には公立、私立ともに出願先の決定がなされ、冬休み前に願書が揃っていないといけないというわけです。

そこで重要なのは、ご家庭では、あらかじめ「教育相談」→「二者懇談」→「家庭での話し合い」のステップを踏んだ上で親子ともに納得できる志望校を考えておいてほしいということです。

いちばん避けなければならないのは三者懇談の場で「さてどこにしましょうか」や、「親子の意見に隔たりがあって出願先が決まらない」という事態です。

そうならないように、ご家庭でも普段から進学についての話題を取り上げてほしいと思います。

Q、公立高校だけの受検で大丈夫ですか

私立との併願（公私両方を受けること）をおすすめします。北海道の公立高校は中学校のランクと学力検査（学科試験）の両方の結果をみて合否を判定する相関表方式をとっています。相関表方式ではそのときの出願者の成績分布や当日の試験の出来具合によって合否が左右されるため、合格ラインが読み切れないところがあります。

ですから公立高校が第一志望の場合、万が一に備え、私立高校は合格可能性が高いところを選択しておくことが賢明です。

※公立のみを受検して不合格になった場合、公立で定員割れした高校が第二次募集を実施するのを待つか、私立の第二次募集を探すかになります。定員割れする高校がどこかはあらかじめわかりません。本来通いたかった高校とは場所もイメージもかけ離れたところになる可能性があります。

Q、奨学金にはどのようなものがありますか

奨学金制度とは？〈給付型と貸与型のちがい〉

奨学金は、学習意欲のある生徒に対し、学費や生活費を給付または貸与することにより、経済的負担を軽減するための制度です。「給付」される奨学金は、支給された奨学金は返還する必要がありませんが、「貸与」された奨学金は、一定期間内に返還しなければなりません。なお、平成17年度以降の高等学校（中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部を含む）に対する奨学金事業は都道府県に業務が移管されています。

地方自治体の奨学金制度

都道府県や市区町村によっては独自の奨学金制度を用意しているところもあります。利用するのは奨学金を支給する地方自治体に、本人または保護者が居住していることが条件です。地方自治体により、貸与か給付か、学力基準や所得制限、申込時期、他の奨学金との併用ができるかなど、条件は異なります。

石狩市の場合、「石狩市奨学生」が例年5月ごろ募集されています。

条件は以下のとおりです。 ※令和6年度のもの

- (1) 本人または保護者が市内に住所を有すること
- (2) 高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校、専修学校の高等課程に在学していること
- (3) 学資に乏しいこと
- (4) 次のいずれかに該当すること。
 - ア 過去3年間の学業成績の評定平均値が5段階評価で概ね3.0以上であること
 - イ 向学心に燃え、修学意欲に満ち、学校復帰への強い意志を有すること（不登校、傷病その他の理由により前年度において概ね30日以上欠席又は出席停止が認められる者に限る）。
- (5) 性行が善良であること

詳しくは石狩市のホームページで見ることができます。

<https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kyouiku/2636.html>

民間育英団体や公益法人による奨学金制度

企業や個人が設立した民間育英団体や、公益法人が設立した奨学金制度もあります。これらに、おおむね共通しているのは、「成績」「家庭の所得」「作文」などの条件を課しているところです。受給者は、学校が推薦した学生を団体が審査し、決定します。

【給付型奨学金】

公益財団法人梅津奨学院「梅津奨学金」

<http://www.zai-umezu.or.jp/enterprise/index.html>

公益財団法人コープさっぽろ社会福祉基金「育英奨学生」

<https://sites.google.com/csap-f-kikin.org/home/home/>

【貸与型奨学金】

公益財団法人北海道高等学校奨学会

<http://www.do-shougaku.or.jp/>

奨学金.net というホームページではさまざまな奨学金が紹介されています。

<https://xn--kus49bd4lh.net/> ※給付型は大学生に対して多いようです。

近年、返済義務のある貸与型奨学金について、返済不能に陥るケースが多くなり、報道でも多く取り上げられるようになってきました。上記をご参考に、よく情報を集めた上でご検討ください。

高校独自の奨学金制度

多くの私立高校で独自の奨学金制度を用意しています。高校によっては、経済面の基準がなく、純粋に成績優秀な学生を対象にした特待生制度を設けているところもあります。

ランクで支給が決まるものや、一般入試の結果が優秀な学生に支給されるものがあります。

(例) 札幌北斗高等学校の令和7年度入学者選抜の例

出願時のランクによって奨学金が支給される「ランク特待」

特典 石狩管内中学校の 基準です	入学時奨学金		学習活動奨学金	
	推薦・単願 AB	併願	推薦・単願 AB	併願
A・B	230,000 円 (入学金全額)	230,000 円 (入学金全額)	各月 12,000 円 (3年間)	各月 12,000 円 (3年間)
C	230,000 円 (入学金全額)	115,000 円 (入学金半額)	各月 10,000 円 (3年間)	各月 8,000 円 (3年間)
D・E	115,000 円 (入学金半額)	80,000 円	各月 8,000 円 (3年間)	各月 5,000 円 (3年間)
F	80,000 円	40,000 円		

上記以外の私立高校にも強化指定クラブに入部することを条件に支給されるタイプのもの(スポーツ特待)もあります。特待は年度ごとに見直しがされていますので、諸条件については後日、高校の入試担当者から中学校へ知らされます。(HPでも公開されます)

参考：国の教育ローン(奨学金ではありません)

公的教育ローンには、日本政策金融公庫の教育一般貸付(国の教育ローン)があります。固定金利で民間のローンに比べて金利は低めで、返済期間は原則最長18年です。

融資限度額は子ども一人につき350万円で、子どもの数に応じた所得制限があります。

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

Q、樽中生はどんな学校へ進学していますか

今春の卒業生の進学動向は以下のとおりです。樽川中学校は例年、たくさんの進学先に生徒を送り出している進路多様校です。一人一人の生徒が希望する進路の実現にむけて進路指導をおこなっています。

令和6年度卒業生 進路先一覧(令和7年3月31日現在)

課程等	区分	卒業後の進路先	人数	課程等	区分	卒業後の進路先	人数		
全 日 制	石 狩 管 内	北海道石狩南高等学校	14	定 時 制	公 立	北海道有朋高等学校	3		
		北海道札幌北陵高等学校	4			北海道札幌南高等学校	1		
		北海道札幌北高等学校	1			札幌	札幌市立大通高等学校	1	
		北海道札幌西高等学校	2		通 信 制	公 立	北海道札幌高等養護学校	1	
		北海道札幌手稲高等学校	9				公立	北海道有朋高等学校	5
		北海道札幌英藍高等学校	6				私 立	飛鳥未来きぼう高等学校	1
		北海道札幌稲雲高等学校	8			飛鳥未来きずな高等学校		2	
		北海道札幌あすかぜ高等学校	5			精華学園高等学校		1	
		北海道札幌国際情報高等学校	2			とわの森三愛高等学校		1	
		北海道石狩翔陽高等学校	28			北海道芸術高等学校		1	
		北海道札幌工業高等学校	4			第一学院高等学校		1	
		北海道札幌琴似工業高等学校	5			ヒューマンキャンパスのぞみ		1	
	北海道当別高等学校	1	池上学院高等学校	1					
	他 管 内	北海道美唄聖華高等学校	1					就職	3
		旭川工業高等専門学校	1				公立高等学校(高専含む)	102	
		札 幌 圏 私 立	札幌山の手高等学校	2			私立高等学校	44	
			札幌創成高等学校	6			合計	149	
			札幌日本大学高等学校	1					
			札幌北斗高等学校	8					
			札幌龍谷学園高等学校	2					
北海高等学校			2						
道 内 私 立	北海学園札幌高等学校	1							
	北海道科学大学高等学校	8							
	北照高等学校	1							
道 外 私 立	駒澤大学附属苫小牧高等学校	2							
	小樽双葉高等学校	1							
		昇陽高等学校	1						